

令和2年度の教育活動紹介



7月 皇中MAKE
生徒会執行部が各教室に出向き制服等について説明。



9月 吹奏楽部のコンサート
を体育館で実施。



9月 文化芸術週間
文化祭が中止になり、代替として文化的作品を鑑賞する文化芸術週間を実施。



9月・11月 体育大会
全学年で実施できないため、3年生は9月、1,2年生は11月に開催。



10月 選書会
クラス毎に選書。図書ボランティアさんのご協力の実現。

11月 OSK会議
O(皇子山中学校区)、S(小中連携)、K(子ども)会議。
今年度は、Zoomで会議を実施。



10月 1年生琵琶湖遠足
烏丸半島まで徒歩で遠足。
郷土への愛を深め、自然環境を自らの目で再確認。



12月 落ち葉ひろいボランティア
部活動や体育委員が中心となり、落ち葉を拾い、校庭や舗道を掃除。



1月 小学校へ入学説明会
生徒会執行部が4学区の小学校へ出向き、中学校を紹介。

愛校心

自信と誇り 校区愛

～地域とともにある学校づくり～

コミュニティ・スクールは、学校・保護者・地域が一緒になって子ども達の成長を支え、同時に地域の未来の担い手を育てていく活動です。

絆

皇子山中学校コミュニティ・スクール通信
令和3年3月発行



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な教育活動に制限が設けられました。休校や分散登校など、今までになかった生活様式を強いられ、子ども達も大人もストレスがあったことでしょう。それでも子ども達は元気に登校し、日々学習に取り組んでくれました。この通信では、子ども達の活動とともに学校運営協議会の取組を紹介します。

「皇中カラーを大切に、自立した学校へ」

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、暗い話題が多く現実を受け入れながら過ごしていかなければならず、学校も様々な活動を実施できない現状にある。地域・大人の役割として、子どもの居場所づくり、子どもを中心としたまちづくりを推進していきたい。AIにはない人間社会の温かさが人を育て、まちを育てていくと考える。

「やっぱり皇中が好き」というキャッチフレーズがあるが、「なんで好きなの？これ！」と子どもも大人も実感できる取組が必要だと感じる。「なぜやるのか」「なぜ必要なのか」、目的を明確にして、思いを形にできる仕組みづくりを学校と地域がともに考えていきたい。小さなことでもアイデアを実践していくことがコミュニティを発展させ、将来へつなげていく。皇子山中学校だからこそできること、皇中カラーを発揮できるよう、困っていることや協力してほしいことを地域に相談できる環境を作っていきたい。双方向の対話を重視し、従来の形にとらわれない自立した学校になるために、その一端を担えたらと思う。

皇子山中学校 学校運営協議会 委員長 清水 耕二

「やっぱり皇中が好き！これからもずっと好き！といわれる学校に」

本校は、平成27年度からコミュニティ・スクールとしてスタートし6年目を迎えます。生徒の健やかな成長を願い、学校運営協議会委員の皆様と、予算、様々な教育活動、教育活動に関わる人的な資源などについて、協議を重ねています。

令和3年2月のキャリア学習「生き方を学ぶ～地域の先輩にインタビュー～」では、生徒が地域の方と直接お話しする機会を得ることができ感謝しています。人の役に立つすばらしさや働く意義、生きがいなどを教えていただきました。さらに、本校への心温まる励ましや皇中生への応援メッセージも頂戴しました。お礼申しあげます。

生徒にとって、保護者や教員以外の、異なる世代の大人と接するという経験は、将来へのあこがれを抱いたり、自分のよさに気づいたりする機会になります。そして、地域社会へ参画する基盤を培うことにつながることも意義があると捉えています。

生徒も教職員も笑顔で、生き生きと活動する学校をつくりたいと考えています。

皇子山中学校 校長 脇 淳子

地域に感謝！2年生 キャリア教育「生き方を考える～地域の大人へインタビュー～」

例年は、一週間にわたり職場体験を実施させていただいていましたが、コロナ禍の影響で実施できませんでした。キャリア教育は、未来を担う子ども達が将来への選択肢を広げることや地域の働く大人から学ぶことが大きな学習の目的となります。

「職場体験学習に代わるものはないか」と悩んでいたときに、学校運営協議会の委員の方に相談させていただきました。「それなら自分たちの地域で協力しようじゃないか！」と快諾いただき、107箇所の地域・事業所・官公庁の方々に受け入れていただきました。多分に失礼があったかとは存じますが、お許しいただけると幸いです。

地域とともにある学校として、大変意義深い取組でした。受け入れてくださった皆様、心より感謝申し上げます。

◇ほんの一部ですが、写真で紹介させていただきます。



藤尾学区自治連合会会長



学校運営協議会会長



長等学区体育文化連盟会長



滋賀学区自治連合会女性部長



皇子山中学校PTA会長



料理豆信（前PTA会長）



比叡平野鳥の会



おつけもの丸長食品



藤尾学区社会福祉協議会会長



滋賀学区体育協会会長



大津市議会



比叡平・トリマー
（トラッキーファミリー）



サプライズ！
なんと佐藤市長にインタビュー



大津市教育委員会教育長



TV取材も入りました（郵便局）

★(仮称)皇中みらい応援団の登録について

ご協力いただきました皆様には、お礼とともに「(仮称)皇中みらい応援団」の登録についてご依頼させていただきました。今後ともご協力いただくと幸いです。よろしくお願いいたします。



今回、私たち2年生の職業インタビューでは、様々な職業のことを知ることができただけでなく、自分たちの将来のために「自分は今何を頑張るのか」ということを考えながら中学校生活を送ることが大切なのだと気づくことができました。

また、生徒会では文化祭をどう盛り上げていくかというテーマで企画を進めています。このコロナ禍でもみんなが明るく笑顔になれるように頑張ります！

生徒会 会長 山川 瑠斗

令和2年度 学校運営協議会の歩み

【第1回】8月27日

- * 大津市教育委員会より学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員を委嘱
- * 委員長、副委員長の決定
- * 学校経営方針の承認
- * 2学期の学校行事について



◇熟議

地域と学校が関わる機会が少ないことが課題の一つ。関わる機会を多く持ち、学校の課題や地域の要望、悩み等を気軽に相談できる機会や生徒が地域に興味を持てる機会をつくる必要がある。学区を越えた体験、学区ならではの体験をさせたい。地域のなかに子どもの居場所をつくることで、人間関係等で苦しむ子どもを救うことができる。

【第2回】10月20日

- * 学校予算について
- * キャリア教育について
- * 命を思う集いについて
- * 学校運営協議会の在り方について



◇熟議

学校規模に対する予算額は適正なのか。印刷経費の比重が大きいことは理解できたので、ペーパーレス化を推進してほしい。学校運営協議会として、さらなるICT化についても大津市に意見を伝えていく必要がある。キャリア教育は、校内でプロジェクトチームを発足させた。学校運営協議会は、成果を出せる機能を持たせるべきであり、予算と人を要望できる機関である。生産性のあるものにしていきたい。

【第3回】1月21日

- * 3学期の学校の様子について
- * 2年生キャリア教育について
- * チーム学校について(GIGAスクールや人材など)
- * 学校評価の分析について



◇熟議

今年度は、以前との比較が難しい。コロナ禍でのストレスがSNSでのトラブル増加につながっているのではないかと。学校評価の結果を反映させ、必要性・効果がないと判断したものは思い切ってカットし、皇子山として独自のカラーを出して取り組んでいく必要がある。